

会 議 録

会 議 の 名 称	第1回登米市（仮称）地域交流センター整備有識者会議
開 催 日 時	令和5年11月28日（火） 午前10時開会 午前11時50分閉会
開 催 場 所	登米市役所 迫庁舎3階 第4委員会室
議長（会長）の氏名	公立学校法人宮城大学 教授 徳永 幸之
出席者（委員）の氏名	学校法人東北工業大学 教授 大沼 正寛 公立学校法人宮城大学 教授 徳永 幸之【会長】 宮城県社会教育協会 副会長 高橋 弘一【副会長】 登米中央商工会 会長 熊谷 敏明 登米市産業振興会 副会長 伊藤 秀雄 社会福祉法人登米市社会福祉協議会 事務局長 穴戸 敬吾 登米市コミュニティ推進連絡協議会 理事 岩淵 浩 株式会社ミヤコーバス佐沼営業所 所長 橘 正二 一般社団法人とめ青年会議所 理事長 杉山 孝俊 特定非営利活動法人とめタウンネット とめ女性支援センター長兼プロジェクトマネージャー 足立 千佳子 特定非営利活動法人奏海の杜 代表理事 太齋 京子 以上11名
欠席者（委員）の氏名	一般社団法人宮城県経営者協会登米支部 副支部長 及川 勝一郎
事務局職員職氏名	【事務局】 総務部 部長 阿部 桂一 総務部政策推進局長 小野寺 憲司 建設部住宅都市整備課 都市政策専門監 佐々木 昭彦 総務部政策推進室 主幹兼政策マネジメント係長 佐藤 浩二 総務部政策推進室 主査 小竹 顯 総務部政策推進室 主事 高橋 昂平
議 題	【協議事項】 （1）登米市（仮称）地域交流センター整備有識者会議について （2）登米市（仮称）地域交流センター整備の背景と基本方針について
会 議 結 果	別紙のとおり
会 議 経 過	別添のとおり
会 議 資 料	【資料1】登米市（仮称）地域交流センター整備有識者会議について 【資料2】登米市（仮称）地域交流センター整備有識者会議設置要綱 【資料3】登米市（仮称）地域交流センター整備スケジュール（予定） 【資料4】登米市（仮称）地域交流センター整備の背景と基本方針について 【資料5】登米市（仮称）地域交流センター整備基本方針

(別紙)

発言者	発言趣旨
事務局	<p>本日は、お忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。 定刻となりましたので、只今より「第1回登米市（仮称）地域交流センター整備有識者会議」を開会いたします。 本日ですが及川勝一郎委員から欠席の連絡を受けておりますのでご報告いたします。</p>
事務局	<p>はじめに、委員の皆様へ委嘱状を交付させていただきます。なお、本日、熊谷市長が別の公務により欠席となりますので、丸山副市長から委嘱状の交付をさせていただきます。 お手元の「登米市（仮称）地域交流センター整備有識者会議委員名簿」の順に、副市長が皆様の席を回りましてお渡しいたしますので、お名前を呼ばれましたら、その場で起立の上、受領いただきますようお願いいたします。</p> <p>【 委嘱状交付 】</p>
事務局	<p>続きまして、丸山副市長より挨拶を申し上げます。</p> <p>【 副市長挨拶 】</p>
事務局	<p>続きまして、委員の皆様をご紹介させていただきます。名簿に記載の順にお名前を紹介させていただきます。</p> <p>【 委員紹介 】</p>
事務局	<p>続きまして、事務局を紹介させていただきます。</p> <p>【 事務局紹介 】</p>
事務局	<p>議題に入る前に「有識者会議設置要綱第4条第1項」の規定により、会長と副会長の互選をお願いいたします。 丸山副市長を仮議長としまして、選考をお願いいたします。</p>
副市長	<p>それでは、暫時の間、仮議長となりまして、会長・副会長の互選をいたします。互選の方法について、委員の皆様からご意見があれば、お願いいたします。</p> <p>【 事務局案の声 】</p>
副市長	<p>只今、事務局案という意見がありましたが、よろしいでしょうか。</p>

副市長	<p>【 異議なしの声 】</p> <p>異議なしとの声がありました。 それでは、事務局より提案をお願いいたします。</p>
事務局	<p>事務局案として、会長に徳永幸之委員、副会長に高橋弘一委員を推薦させていただきます。</p>
副市長	<p>只今、事務局案として、会長に徳永幸之委員、副会長に高橋弘一委員の推薦がありました。 事務局案に対して、皆様からご意見があればお願いいたします。</p>
副市長	<p>【 異議なしの声 】</p> <p>異議なしとの声がありました。 それでは、会長は徳永幸之委員、副会長は高橋弘一委員に決定いたしました。 会長、副会長が決定しましたので、仮議長の任を降りさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
事務局	<p>それでは、徳永会長よりご挨拶をお願いいたします。</p>
事務局	<p>【 会長挨拶 】</p> <p>ありがとうございました。 誠に恐縮ではございますが、丸山副市長は次の公務のため、ここで退席させていただきます。ご了承のほど、よろしくお願い申し上げます。</p>
事務局	<p>ここで、本日の会議の公開・非公開についての報告ですが、本日の審議案件は、「登米市審議会等の会議の公開に関する指針第3条」の規定による非公開議案には該当しませんので、傍聴者5人程度といたしまして、公開で行うこととなります。なお、ご発言の際は、お手数ですが事務局がお渡しするマイクをご使用いただきますようご協力をお願いいたします。 それでは、議事に入らせていただきます。 「有識者会議設置要綱第5条」において、会長が議長になることが定められておりますので、ここからは徳永会長が議長となり議事を進めていただきます。 徳永会長、よろしくお願いいたします。</p>
会 長	<p>それでは、次第にしたがいまして進めさせていただきます。「(1) 登米市（仮称）地域交流センター整備有識者会議について」、事務局から説明をお願いします。</p>

<p>事務局</p> <p>会 長</p> <p>事務局</p> <p>会 長</p> <p>委 員</p> <p>事務局</p> <p>委 員</p> <p>会 長</p> <p>委 員</p>	<p>【 事務局説明 ※資料1、資料2 】</p> <p>説明が終わりました。 委員の皆様から質問があればお受けしますので、挙手の上、ご発言願います。 質問がないようですので次の議題に入ります。 「(2) 登米市(仮称)地域交流センター整備の背景と基本方針について」、事務局から説明願います。</p> <p>【 事務局説明 ※資料3、資料4、資料5 】</p> <p>説明が終わりました。質問はございませんか。</p> <p>資料の中にコンパクトシティ・プラス・ネットワークの考え方が示されていますが、(仮称)地域交流センターには、心臓部のネットワークとしての考え方はあるのでしょうか。また、求められる機能として、交通結節点のような考えは持っておられるのでしょうか。</p> <p>現在の迫庁舎は、高速バスや市民バスの発着所となっており、交通の結節点として機能しており、これを新しい施設にもいかしていきたいと考えています。 具体的な機能については、基本構想、基本計画の中で整理していきたいと考えています。</p> <p>登米市は9つの町が合併した経緯があるため、旧町単位、あるいは旧村単位でのコミュニティが構築されています。今回の事業は大きなプロジェクトであり、市の中心拠点を造るということに、多くの市民が携われるような仕組みが必要になると思います。</p> <p>交通の玄関口といった意味では、単に市民間の交流施設としての面だけではなく、市外との交流施設としての面についても検討する必要があると考えています。地域的な連携に限らず、部門の連携や分野の枠を超えた連携がないとせっかくの施設がもったいない。ハードだけでなく、ソフト部分の議論も必要であるとと考えています。</p> <p>理念と方針についてですが、方針を設定する前にまず理念があるのではないのでしょうか。これから様々な事項を検討していくに当たって、まちづくりの中心となる施設としての明確な理念が必要だと思えます。この理念は政治的な判断を持って決定すべきではないかと考えています。また、一概に交流と言っても、市民交流、文化交流、市外交流とその対象は様々で、どこに焦点を合わせるかによって、この施設のあり方も変わるように思います。どういったまちづくりを目指すのかという視点でしっかりとした理念を持つべきと考えます。</p>
--	---

委員	<p>9つの旧町域が生き残っていくためにも、中心拠点をしっかりとしたものにしていくということが、登米市の立地適正化計画の考え方だと思います。中心拠点の地域交流センターを使ってどのようなまちづくりを進めていくのかという視点で考えていくことが必要だと思います。</p>
委員	<p>市内の旧町域には、それぞれ特色があって、隣接している中田町と登米町でもそれは異なっているように感じています。施設整備の基本方針の中には、『誰もが行きたくする施設』とあるので、想定される利用者を考えていけば、理念が浮かび上がってくるのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>企業経営においては、理念があって、そこに向かうための方針を策定するのが一般的な考え方だと思います。(仮称)地域交流センターにおいても、まずは基本的な理念の設定が必要だと思います。</p>
事務局	<p>今回お示しした基本方針は、施設整備に向けた基本的な考え方を整理したものであり、まちづくりの面を含めた具体的な理念と方針は有識者会議や議会の中心市街地等活性化特別委員会等とともに作り上げていきたいと考えています。</p>
委員	<p>理念が無いと方針が決まらないのではないかと思います。 また、方針の中に防災の観点が抜けていることが気になります。既存の避難所は冷房機能が乏しく、近年のような猛暑に対応できない不安もあるので、災害が発生した場合には避難所として活用できるような施設にしてほしいです。</p>
事務局	<p>防災の視点については、基本方針3『市民の生活を支え、安全で安心して利用できる施設』の考え方に含まれております。(仮称)地域交流センターを避難所として活用するために必要となる機能についても、今後検討していきたいと思えます。</p>
委員	<p>市内の学校において、エアコンを整備したことで電気料金が5倍になったとの記事が議会だよりに掲載されておりました。冷暖房設備は電気だけでなく、ガス式など様々な方法があるので検討してほしい旨、当時、教育委員会へ要望したが叶わなかった経緯があります。この有識者会議で出された意見については、しっかりと検討するように進めてもらえればと思います。</p>
委員	<p>ハード面の施設整備だけではなく、ソフト面としてどのように施設を生かしていくのかという視点が重要だと考えています。社会福祉協議会においても、まちづくりのための活動を行っており、地域も含め、今後、どのように連携を図っていくのか考える必要があるものと思います。縦割りの考えではなく、柔軟に検討を進めて欲しいと思います。</p>
委員	<p>市民アンケート、ワークショップでは市民に共感してもらえるように取り組む</p>

事務局	<p>必要があります。幅広い世代から意見を集約することは非常に大切なことですが、いざ意見集約を行うと特定の属性に偏ってしまうことがよくあるので、若い世代の、特に子育て世代の意見を集める工夫が必要ではないでしょうか。</p> <p>意見集約の方法として、総合計画の見直しにおいて今後予定するまちづくりに係る市民アンケートやイベントの機会を活用することが考えられます。具体的な手法等について検討していきたいと思います。</p>
委員	<p>現在の迫公民館は利用者から人気のあり、施設予約が難しい状況にあります。資料中に記載された想定施設規模を見てみると、公民館を含めた市民交流機能の面積が大きくとられていて、利用者にとって喜ばしいことだと思います。しかし、他の機能も集約していく中で、今回示された施設規模で本当に十分なのでしょうか。</p>
事務局	<p>現時点で想定される面積を記載したものですので、(仮称)地域交流センターにおける必要な機能等を具体的に検討していく中で、変動していくものと捉えております。</p>
委員	<p>図書館を一か所に集約することで利便性は向上すると思いますが、他方で、登米図書館、中田図書室を利用している地域の方々の中には不便を感じる人もいます。このため、公民館など社会教育施設との連携が必要になると感じています。各地域の公民館等と地域拠点の考え方を結び付けるということもできると考えています。また、今回の複合施設における公民館機能とは、どういった位置づけのものなのか教えていただければと思います。</p>
事務局	<p>電子書籍の導入やDXの推進、公民館との連携などによる利便性の向上につながる方策の検討は必要だと感じています。このことについては、教育委員会と連携を図りながら進めていきたいと考えています。</p> <p>複合施設の中に入れる公民館機能については、あくまで迫地区の公民館という位置づけで捉えているものです。</p>
委員	<p>登米市全体は広い市域を2本の川が縦断した地形をしており、地域には様々な資産が存在しています。この既存資産をどのように評価していくのが重要と考えています。古い建物だという理由で更新をしがちではありますが、人気のある建物は残しても良いと思います。迫公民館が人気であれば、解体せずに活用していく考え方もとれるのではないのでしょうか。</p> <p>今回の計画では、迫公民館のみ更新して、迫体育館を残すのは何故でしょうか。一斉に複合化して大きい建物にするのは少し古い考え方。古くても良い物は残しつつ、必要な部分のみ建て直すという方が持続可能な考え方だと思います。</p>
事務局	<p>将来負担を見据えて、トータルコストをできる限り抑制することができるよう</p>

	<p>に既存施設の利活用も含めて検討を進めていきたいと考えています。今回、複合化を検討している施設は老朽化が進み、このまま使い続けた場合、近い将来、耐用年数を迎えることが想定されているものです。</p> <p>迫体育館については、佐沼中学校の体育館が狭隘なこともあり、部活動で盛んに利用がされている状況にあります。教育委員会で進めている学校再編と共に検討が必要な事項であるほか、比較的躯体の状態が良いため、今回の複合化からは除外しているものです。</p>
委 員	<p>登米市を象徴するようなキーワードが必要ではないでしょうか。登米市は、東北の市町村別農業産出額が3位であり農業が盛んな地域です。また、豊かな自然環境もあります。このことをいかしたキーワードとすることはできないでしょうか。</p> <p>どこの自治体も行政運営が厳しいような話を耳にしていますが、そんな中でも人口・交流人口を増やしている自治体もあります。市民の顔となり、若者が集い交流することができるような施設を目指してほしいと思います。</p>
事務局	<p>ご意見を取り入れながら検討していきたいと思います。</p>
会 長	<p>(仮称)地域交流センターを造って終わりではなく、それをどう活用してまちづくりをしていくのか。中心拠点と地域拠点・地域コミュニティをどう結んで、どう活性化していくのかなど、検討することは多いと思います。時間は限られているので、しっかりと議論を深めていく必要があります。</p>
会 長	<p>ほかに質問はありませんか。</p> <p>質問がないようですので、本日の議事は以上となります。</p> <p>それでは、事務局に進行をお戻ししますので、よろしくをお願いします。</p>
事務局	<p>徳永会長、議事の進行、ありがとうございました。</p> <p>以上で本日予定いたしました議事はすべてご審議いただきました。</p> <p>次に、その他でございますが、委員の皆様から何かございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは閉会にあたりまして、副会長からご挨拶をお願いいたします。</p> <p>【 副会長挨拶 】</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、「第1回登米市(仮称)地域交流センター整備有識者会議」を閉会いたします。</p> <p>なお、次回の会議は年明けの2月頃を予定しております。日程が決まり次第、改めてご連絡させていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>大変、お疲れ様でした。</p>